

洋舞踊発表公演
大山流
『日本』三部曲と
新しい生活様式

皇紀二千六百年
奉祝藝能祭

プロジェクト大山

踊る日本の私

劇場公演 [日時]2020年9月30日(水)19時開演 / 10月1日(木)19時開演

[会場]東京ウィメンズプラザ ホール

オンライン映像配信 [日時]10月1日(木)夜

●チケット購入者限定公開 オンラインレクチャー

坂口勝彦『日本』三部曲とはなにか?

[日時]2020年9月中旬～10月1日(木)深夜

第四部「新しい生活様式」

古家優里氏振り付け、プロジェクト大山による上演になるもので、令和に起きた受難によって襲来した新しい生活と、それに伴い播道する人間の有り様を諧謔的表現をもって創造したものである。

第三部「前進の脈動」

石井漢氏振り付け、上演になるもので、総動員体制の下に、産業戦士や農村の勤勞奉仕團、都會の有閑層や消費生活者群が起ち上つて、一丸となつて盛り上つてゆく烈々たる時代の動きを表現したものである。

第一部「創造」

江口隆哉氏の振付、江口隆哉、宮撰子氏等の上演したもので、生活に目覚めた人間の建設的な創造への巨歩を表現したものである。

第三部「東亞の歌」

高田せい子氏振付、上演になるもので、生きた鶯に精神的な日本文化を、機械の鶯に物質的な西洋文化を表徴して、新生支那の黎明曙光を表現したものである。

ダンス・アーカイヴ・プロジェクト2020



日本三部曲

Dance Archive Project 2020

踊る日本の私

ダンスアーカイヴプロジェクト2020 プロジェクト大山「踊る日本の私」 大山流『日本』三部曲と新しい生活様式

『日本』三部曲は、1940年9月30日に東京宝塚劇場で催された現代舞踊公演です。振付・作曲・台本に当時のスターたちが名を連ねた、国家主導の一大スペクタクルでした。1940年は、アジア初となる東京オリンピックの開催が計画された年です。しかし日中戦争の長期化によりやむなく中止されます。その一方で、この年には皇紀2600年を祝う様々な記念行事が催されていきます。第一線の舞踊家達が賑々しく集う『日本』三部曲もそのひとつでした。平和の祭典が中止となった戦時、国家とダンスはどのような接点を持っていたのでしょうか。そして2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって東京オリンピックは延期されました。私たちの生活は平時から一転し、大きく変わろうとしています。今、国家とダンスは、生活とダンスはどのような接点を持つようとしているのでしょうか。80年を経た歴史的ダンス公演を、プロジェクト大山流に読み解き、現代に読み替えていきます。劇場とオンラインで、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

なぜ今『日本』三部曲か

『日本』三部曲は、1940年9月30日に東京宝塚劇場で催された現代舞踊公演です。振付・作曲・台本に当時のスターたちが名を連ねた、国家主導の一大スペクタクルでした。1940年は、アジア初となる東京オリンピックの開催が計画された年です。しかし日中戦争の長期化によりやむなく中止されます。その一方で、この年には皇紀2600年を祝う様々な記念行事が催されていきます。第一線の舞踊家達が賑々しく集う『日本』三部曲もそのひとつでした。平和の祭典が中止となった戦時、国家とダンスはどのような接点を持っていたのでしょうか。そして2020年、新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって東京オリンピックは延期されました。私たちの生活は平時から一転し、大きく変わろうとしています。今、国家とダンスは、生活とダンスはどのような接点を持つようとしているのでしょうか。80年を経た歴史的ダンス公演を、プロジェクト大山流に読み解き、現代に読み替えていきます。劇場とオンラインで、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



プロジェクト大山

プロジェクト大山(振付・演出・出演)

2006年、古家優里を中心に、お茶の水女子大学舞踊教育学コースを卒業したメンバーにより結成。2009年横浜ダンスコレクション、Rにて「審査員賞」、2010年トヨタコレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」を受賞。カンパニー公演のほか、長塚圭史やケラリーノ・サンドロヴィッチの演劇作品への振付・出演、NHK Eテレの人気子供番組「みつけた」の楽曲振付・出演など、活躍の場を広げている。

『日本』三部曲とは 坂口勝彦
1940年、3年目の日中戦争は泥沼状態になり、予定されていた東京オリンピックも返上された。だが、この年は神武天皇即位2600年にあたる。疲弊する中国戦線を尻目に、政治的・祭祀的・文化的な多くのイベントが官民で企画された。そのひとつが、皇紀二千六百年奉祝芸能祭。「日本文化中央連盟」という数年前に設立された半官半民の機関が企画した。その洋舞部門で作品を依頼されたのが、江口隆哉(40歳)、高田せい子(45歳)、石井漢(54歳)。当時舞踊批評をしていた光吉野弥が、「日本」というタイトルでシナリオを書いた。作曲は深井史郎、江文也、高木東六。こうして、「創造」東亜の歌「前進の脈動」という、八絃一字に基づく東亜新秩序を称揚し、戦時体制を鼓舞する3部作ができあがった。9月30日に東京宝塚劇場で上演。

第一部 創造

「振付」江口隆哉・宮操子 「作曲」深井史郎
神々、生命、人間の誕生を描く。江口と宮操子が、万物を産む二体の神となり、最初の男女ともなる。生物の群れが抽象的なモダンダンスで表され、江口と宮の二人が麗美なデュエットを踊る。パレエ・ステドワの『世界の創造』を参考にしたパノラマ的作品。

第二部 東亜の歌

「振付」高田せい子 「作曲」江文也
舞台は支那。絢爛たる宮廷、上海埠頭の喧騒、狼狽な広東のキャバレー。優雅な振りや颯爽と登場する高田せい子は、情眼を貪る支那を闊歩する近代の女性の象徴。パレエ・リュス風のエキゾチシズムをたっぷりまぶした作品

第三部 前進の脈動

「振付」石井漢 「作曲」高木東六
勤労奉仕に邁進する集団の動きをテンポよく提示する。厚生運動や産業戦士など、新秩序を体現する群舞を明快な振りや繰り出しながら、石井漢自身は持ち前のユーモラスな仕草で踊る。クルト・ヨース『緑のテーブル』の收拾がつかない会議シーンが引用される。



プロジェクト大山

田上豊 脚本・構成・演出

1983年生まれ。熊本県出身。田上ハル主宰。劇作家、演出家、埼玉県富士見市民文化会館キマリふじみ芸術監督、人間や集団の揺らぎを描くことに定評があり、爽快感溢れる遊び心をもった演出を得意とする。劇団活動に加え、全国各地でのクリエイションやワークショップ活動を展開している。青年団演出部、尚美学園大学非常勤講師、奈良市アートプロジェクト(古都祝祭)舞台芸術プログラムディレクター。



坂口勝彦

坂口勝彦(監修)

戦前から戦中までの日本のダンス史を調査し、戦前から戦中までの日本のダンス史を書く予定。『戦場のモダンダンス』(2017・大野一雄舞踏研究所)執筆。

ライブの迫力を生きたい

劇場公演
9月30日(水) 19:00開演
10月1日(木) 19:00開演
会場：東京ウィメンズプラザ ホール
親子室のご利用は事前にお問い合わせください。

自分の時間でゆっくり見たい

オンライン映像配信
10月1日(木)夜
Peatixよりお申し込みいただいた後、9月中旬より、公演観覧のリンク情報をメールでお送りします。
作品の背景を知ってもっと面白くみよう
チケット購入者限定公開オンラインレクチャー
坂口勝彦 『日本』三部曲とはなにか？
9月18日(金)～10月1日(木)深夜
Peatixにてお申し込みいただいた後、9月中旬より、レクチャー視聴のリンク情報をメールでお送りします。

チケット 完全予約制

劇場鑑賞チケット
3,000円(中学生以下無料)
配信視聴チケット
1,200円

チケット取り扱い

Peatix
・劇場鑑賞チケット
<https://dap2020-live.peatix.com/>
・配信視聴チケット
<https://dap2020-online.peatix.com/>



お問合せ

NPO法人ダンスアーカイヴ構想
E-Mail: info@dance-archive.net
Tel: 03-3582-9273
<http://www.dance-archive.net>
@DanceArchiveNetwork
@dance_archive
@dancearchivenetwork

会場アクセス

東京ウィメンズプラザ ホール
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67
東京ウィメンズプラザ B1F Tel: 03-5467-1711

- JR・東急・京王・東京メトロ 渋谷駅宮益口から徒歩12分
- 東京メトロ 表参道駅B2出口から徒歩7分
- 都バス(渋88系統) 青山学院前バス停から徒歩2分

主催：NPO 法人ダンスアーカイヴ構想
共催：有限会社かんた
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



感染症拡大防止対策について | 東京都の感染拡大防止ガイドラインに則り、細心の注意を払いながら感染予防の取り組みを行ってまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご来場いただく全てのお客様に、お名前・メールアドレス・電話番号をお伺いいたします。当公演にて新型コロナウイルス感染の疑いがある方が発生した場合、以上の情報を保健所等の公的機関へ提供させていただく場合がございます。何卒ご了承ください。

プロジェクト大山